

新しい取り組みに挑戦! 経営改善・新事業創出



デジタル化・DX※で経営革新!

県内事業者のデジタル化を推進し、地域や事業者が抱える課題の解決と新商品・新サービスの開発、生産性の向上やDXにつなげるためのさまざまな取り組みを進めています。

※「DX(デジタルトランスフォーメーション)」とは、企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること(単なるホームページの作成や会議のオンライン化などのデジタル化を意味するものではありません)。

「スマートものづくり」で課題解決!

●「スマートものづくり」とは?

ものづくり企業がロボットやAI、IoTなどの先端技術を活用して生産性や付加価値などを高める取り組みのことです。企業が今抱えている課題を解決できる可能性を秘めています。

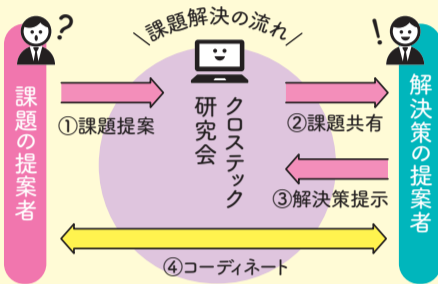


詳しくは県庁HP
スマートものづくり 検索
地域産業課 ☎017-734-9373

産学官の連携でDXを推進!

クロスステック研究会マッチングサイト

県内事業者のDXの推進を図るため、産学官(大学・支援機関・IT企業など)が一体となり、事業者の方々の課題をデジタル技術で解決します。課題の提案者と解決策の提案者をウェブ上でマッチングし、課題の解決をサポートします。お悩みを抱えている事業者の方は、お気軽にお問い合わせください。



詳しくは県庁HP
クロスステック研究会 検索
新産業創造課 ☎017-734-9418



大浦食品株式会社(八戸市)
おおうら まさき
工場長 大浦 誠紀さん

当社ではこれまで、出荷に間に合わせるために別部門から人員を集めて商品製造を行っていましたが、会社の人手不足が深刻になる前に生産効率を高める必要があると考え、先端設備を導入したいと思い、「スマートものづくり促進事業費補助金」の申請をしました。

補助金を活用してコンピュータスケールとパケットリフト、2軸式振り分けロボットを導入したことで、生産スピードが大幅に向上した上に、省人化にも成功しています。今後もさらなる生産性の向上を目指して、取り組みを進めていきたいです。



生産性が劇的に向上しました。

Interview 2 「スマートものづくり促進事業費補助金」を活用しました

価値を高める再利用「アップサイクル」

本県由来の未利用資源を活用したアップサイクルビジネスの創出を図るため、県内事業者のマッチングや専門家の派遣など、さまざまな取り組みを進めています。

●「アップサイクル」とは?

果実の搾りかすやホタテの貝殻など、本来であれば不要とされる廃棄物などに、デザインやアイデアにより新たな付加価値を持たせ、より価値の高いものとして生まれ変わらせることを言います。サステナブル(持続可能)なものづくりとして新たな市場の拡大が期待されています。



果実の搾りかす・皮・芯、酒かす、ホタテの貝殻など

事例紹介

「UPCYCLE B タンブラー 津軽びいどろ」

北洋硝子株式会社(青森県)×アサヒユアス株式会社(東京都)



青森の伝統工芸「津軽びいどろ」を手掛ける北洋硝子株式会社とアサヒユアス株式会社が共創し、従来は廃棄されていた飲食店の破損ジョッキなどをハンドメイドタンブラーとしてアップサイクルしています。環境負荷低減と地域産業活性化を目指した取り組みです。

画像提供:アサヒユアス株式会社



青森県アップサイクルフォーラム



会員企業募集中!

会員は、アップサイクルビジネスに関するセミナーなどの情報をいち早く知ることができるほか、会員同士のつながりができるなど、さまざまなメリットがあります。入会は無料です。お気軽にお問い合わせください。

詳しくは県庁HP
アップサイクル 検索
新産業創造課 ☎017-734-9420

青森県×神戸市 ビジネス交流を促進!



詳しくは県庁HP
神戸 ビジネス交流 検索
地域産業課 ☎017-734-9375

●青森-神戸線から広がる新たなビジネスチャンス

フジドリームエアラインズ(FDA)の青森-神戸線が令和2年3月に就航。これにより神戸との交流人口が増加し、ビジネス面でも相互交流が行われ、新たなビジネスチャンスが拡大しています。



●ワークショップを通じてマッチング

青森と神戸の企業間のビジネス交流を促進するため、双方の地域の特徴や企業ニーズなどを共有するワークショップを開催し、企業間マッチングや商工団体の交流に取り組んでいます。今後も、空路の利便性を活用した経済交流を促進していきます。



弘前市でのワークショップ

●青森・神戸双方で交流イベントを開催

青森と神戸それぞれで、双方の魅力をPRし、特産品を販売する交流イベントを開催。お互いの認知度アップを図りました。



三村知事と久元神戸市長によるトークセッション